



2016年7月27日

各 位

新華ホールディングス・リミテッド
(URL : www.xinhuaholdings.com)
代表者名 最高経営責任者 (CEO)
レン・イー・ハン
連絡先 (東証市場第二部 コード番号 : 9399)
経営企画室マネージャー
高山 雄太
(電話 : 03-4570-0741)

事業の現状と今後の展開について

当社株式は、2016年4月において月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円未満となり、株式会社東京証券取引所の上場廃止基準（上場時価総額）に抵触いたしました。

これを受け当社は、事業の現状、今後の展開について、下記のとおり株式会社東京証券取引所に対し、同社有価証券上場規程第602条第1項第1号（関連規則は同規程第601条第1項第4号a本文）に定める書面を提出いたしましたので、お知らせいたします。

本書面の提出により、2017年1月31日までのいずれかの月において、月間平均時価総額及び月末時価総額が10億円以上になった場合は、上記の上場廃止基準に該当しないこととなります。

株主の皆様をはじめ関係者の皆様には、大変ご心配とご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 事業の現状

(1) 事業内容

当社グループの事業内容は、以下の3つの事業セグメントから構成されています。

- (i) 主に当社の連結子会社であるフォーチュン・チャイナ・パブリック・リレーションズ・リミテッド及びフォーチュン・チャイナ・パブリック・リレーションズ（北京）リミテッドの事業である、金融コーポレート・アドバイザー業務及びパブリック・リレーション・サービスを提供する金融情報配信事業。
- (ii) 主に当社の連結子会社である新華ファイナンシャル・ネットワーク・リミテッドの事業である、アジアで金融情報及びニュースを提供するその他の事業。
- (iii) 当社の連結子会社である GINSMS Inc.及びその子会社（以下、「GINSMS グループ」といいます。）の事業である、クラウド・ベースの A2P メッセージング・サービス（以下、「A2P メッセージング・サービス」



といたします。)及びソフトウェアの製品・サービス(以下、「ソフトウェア製品サービス」といいます。)を提供するモバイル事業。

(2) 業績の推移及び概況

① 連結業績の推移

(注：千米ドル及び百万円未満四捨五入)

決算期	2013年12月期	2014年12月期	2015年12月期	2016年12月期 (予想)
売上高	5,114 (526)	3,697 (380)	4,878 (502)	10,004 (1,030)
経常利益(△損失)	△6,465 (△665)	△3,877 (△399)	△4,136 (△426)	△6,112 (△629)
当期純利益(△損失)	△5,876 (△605)	△2,936 (△302)	△4,165 (△429)	△5,976 (△615)
純資産額	1,624 (167)	2,724 (280)	11,842 (1,219)	-
総資産額	6,886 (709)	6,239 (642)	19,603 (2,017)	-
営業活動による キャッシュ・フロー	△5,625 (△579)	△4,154 (△427)	△2,556 (△263)	-
投資活動による キャッシュ・フロー	377 (39)	△1 (△1)	△2,034 (△209)	-
財務活動による キャッシュ・フロー	1,552 (160)	3,010 (310)	3,005 (309)	-
現金及び現金同等物の 期末残高	3,973 (409)	3,570 (367)	1,876 (193)	-

(注) 上記の数値は、1米ドル=102.91円(2016年6月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の外国為替相場(仲値))にて換算しております。

② 事業の概況

当社は、2013年に現経営陣が就任した後、不採算な事業及び既存事業である金融情報配信事業のリストラクチャリングを進めてきました。現在、金融情報配信事業の規模は小さく、今後も当該金融情報配信事業の売上が大きく伸びることはないと思っております。また、現在、その他の事業からの売上は極めて少なく、今後も当該その他の事業からの売上が伸びることはないと思っております。

当社グループは、新規モバイル事業に参入するため、2015年にGINSMSグループの持分の過半数を取得し、同グループの業績・財務諸表を2015年12月期第4四半期より連結しています。



2. 今後の展開

(1) 金融情報配信事業

本金融情報配信事業の規模及びその売上高は、今後成長することはない見込みですが、現在の売上の水準を維持することを目指します。

(2) その他の事業

本その他の事業からの売上は極めて少なく、今後も本その他の事業からの売上が増加することはない予定です。

(3) モバイル事業

本モバイル事業の事業セグメントは、GINSMS グループの A2P メッセージング・サービス及びソフトウェア製品サービスにより構成されています。今後、当社は、既存事業である金融情報配信事業及びその他の事業の成長を見込める可能性が少ないため、新規事業である本モバイル事業を成長させることに注力していきます。現在、GINSMS グループは、シンガポール、マレーシア及びインドネシアに事業所を有しており、世界中の 100 以上のモバイル・オペレーターを通じて、顧客に SMS を配信するクラウド・ベースの A2P メッセージング・サービスに注力しています。また GINSMS グループは、モバイル・オペレーターや企業に優れたソフトウェア製品サービスの開発・流通を提供しており、世界中で 100 以上のソリューションを展開することに成功しています。当社は、GINSMS グループが中国、香港及び東南アジアにおけるモバイル・オペレーターと密接な関係があり、A2P メッセージング・サービスは、モバイル・オペレーターを通じてメッセージを配信するため、同社が当該国々及び地域において A2P メッセージング・サービスの事業を拡大するために有利な立場にあると考えております。GINSMS グループは、同社の A2P メッセージング・サービスをサポートする A2P クラウド・プラットフォームの新機能の開発、パフォーマンスの強化、またテクニカル・サポートを提供することを目的に、研究開発のため、四半期毎に約 50,000 カナダドルの投資を行っていく予定です。A2P メッセージング・サービスの売上高は、2014 年 4 月に同サービスを開始以来、以下のとおり継続して伸びております。

カナダドル	2014年 4月-6月	2014年 7月-9月	2014年 10月-12月	2015年 1月-3月	2015年 4月-6月	2015年 7月-9月	2015年 10月-12月	2016年 1月-3月
売上高 A2P サービス	78,115	104,836	307,127	627,535	808,109	1,066,242	1,195,023	1,405,400

ソフトウェア製品サービスの売上高は、今後、以下と同等の水準を保つ見込みであるため、ソフトウェア製品サービスからの売上高が同社の全体の売上高に占める割合は、相対的に減少していく予定です。

カナダドル	2014年 4月-6月	2014年 7月-9月	2014年 10月-12月	2015年 1月-3月	2015年 4月-6月	2015年 7月-9月	2015年 10月-12月	2016年 1月-3月
売上高 ソフトウェア・サービス	230,809	199,575	140,235	183,415	262,937	264,551	291,828	256,012

ただ、依然として A2P メッセージング・サービスの売上原価が高いため、GINSMS グループが純利益を計上するまで時間を要する見込みです。A2P メッセージング・サービスの売上原価は、メッセージの配信量が増えるに



つれ、ユニット・コスト（1メッセージあたりの配信料）が安くなるため、売上高に対する割合が減少していく予定です。現時点では、当社の2016年3月31日付のプレス・リリース「GINSMS Inc.の将来予想について」にて開示したとおり、GINSMSグループは、2019年12月期より純利益を計上でき、また2020年12月期に債務超過を解消できると見込んでおります。

3. 上場維持について

上記のとおり、当社は、今後モバイル事業に注力していきますが、同事業が純利益を計上するまで時間を要する見込みであり、現在の当社の売上高の水準では、通常の事業サイクルから運転資金や事業を拡大するための資金を確保することが難しい状況です。そのため、当社が2016年7月13日付のプレス・リリース「第三者割当による新株式及び新株予約権の発行に関するお知らせ」にて開示したとおり、今後も当社の株価の低迷が続き2015年8月18日に割当てた行使価額修正条項付新株予約権、2016年5月24日に割当てた新株予約権及び上記2016年7月13日に割当てた新株予約権の行使による資金調達が見込めない場合、2016年10月頃に追加で資金調達を行う必要があります。現在、当社は、この場合も想定した資金調達の準備を進めておりますが、現時点では、当該資金調達の内容について開示できる段階には至っておりません。2016年10月頃に追加で資金調達が必要となった場合には、運転資金のみならずモバイル事業を拡大するための資金も調達できるよう努め、モバイル事業の拡大を急ぎ、業績を向上させることに全力で取り組んでまいります。なお、GINSMSグループにおいては、当社の2016年3月31日付のプレス・リリース「GINSMS Inc.の将来予想について」にて開示したとおり、2018年12月期第3四半期までに、額面総額が約11.5百万カナダドルの社債を1回又は2回以上に分けて発行し、更に資金調達することを見込んでおります。これらにより当社グループの企業価値の向上を図り、当社株式の月間平均時価総額及び月末時価総額について、株式会社東京証券取引所の定める基準を上回ることにより、今後も株式会社東京証券取引所に上場を維持するよう努めてまいります。

（注）上記の数値は、1米ドル=102.91円（2016年6月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の外国為替相場（仲値））にて換算しております。

以 上



新華ホールディングス・リミテッドについて

当社、新華ホールディングス・リミテッドは複合的な事業を展開するグループ企業であり、主に中国及び日本を含むその他のアジアの地域において、金融サービス及びパブリックリレーションの事業分野において商品及びサービス並びにスマートフォン、テレコム・ソフトウェア・プラットフォーム、グローバル・メッセージング・ゲートウェイ及びモバイル広告プラットフォームの開発及びオペレーションを提供しています。東京証券取引所の市場第二部に上場（証券コード：9399）しており、香港に事業本部を構え、中国及び日本に拠点を配し、グローバルなネットワークを有しています。

詳細は、ウェブサイト：<http://www.xinhuaholdings.com> をご参照下さい。

本文書は一般公衆に向けられたプレスリリースであり、当社株式の勧誘を構成するものではなく、いかなる投資家も本書に依拠して投資判断を行うことはできません。当社株式への投資を検討する投資家は、有価証券報告書などの提出書類を熟読し、そこに含まれるリスク情報その他の情報を熟慮した上でかかる判断を行う必要があります。本書は多くのリスク及び不確定要素を含むいくつかの将来に関する記述を含んでいます。多くの事項が当社の実際の結果、業績または当社の属する産業に影響を与える結果、将来に関する記述で明示または黙示に示される当社の業績と実際の将来の数値とは大きく異なることがあります。